

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公開番号】特開 2019-28036 (P2019-28036A)

【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2017-151056 (P2017-151056)

【国際特許分類】

G 2 1 F 9/12 (2006.01)

B 0 1 D 15/00 (2006.01)

【F I】

G 2 1 F 9/12 5 0 1 K

B 0 1 D 15/00 H

B 0 1 D 15/00 M

B 0 1 D 15/00 1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 23 日 (2019.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

図 5 に示すように、観音開き式吸着材カートリッジ 3 0 は、底部 3 0 a、側部 3 0 b 及び収容部 3 0 c を備えている。底部 3 0 d は、観音開き式吸着材カートリッジ 3 0 に収容された吸着材を支持する部分である。本実施形態では、底部 3 0 a は、網目構造に形成されている。底部 3 0 a の網目は、観音開き式吸着材カートリッジ 3 0 に収容された吸着材がすり抜けて落下しない大きさに形成されている。側部 3 0 b は、底部 3 0 a から鉛直方向の上向きに延在して設けられている。本実施形態では、側部 3 0 b は、観音開き式吸着材カートリッジ 3 0 に収容された吸着材がすり抜けないように、ウェッジワイヤー等を用いたシールド構造に形成されている。収容部 3 0 c は、底部 3 0 a と側部 3 0 b とで囲まれた空間であり、吸着材を収容している。本実施形態では、観音開き式吸着材カートリッジ 3 0 の上側は、開口している。